

ならはみらい



2021年あけましておめでとうございます！

ならはみらい季刊誌、今年のお正月は町民の方の“書初め”で飾っていただきました。テーマは「今年チャレンジしたいこと！」今年は何に挑戦しようか…。皆さんも年初めに今年チャレンジしたいことを書き出してみませんか？2021年、スタートです。本年もどうぞよろしくお願いいたします！



もろもろ塾

猪狩秀男さん



なにかし隊

渡辺みどりさん



檜葉中学校

Nalys(ナリス)社長
馬上一日菜(もういちにな)さん



町内で活躍している皆さんに聞きました！
二〇二一年
チャレンジしたいこと



結のはじまり

古谷かおりさん



天神太鼓うしお会

森栄二さん



イラストレーター

高原啓介さん

“ならはみらい”の最新情報を季節ごとにお届けします！

- P.2 新年のご挨拶・ならSUNフェス大盛況！
- P.3 ならは応援団・ならはふるさと案内人活動報告
最新情報をpick up！
- P.4 紹介コーナー：企業を知ろう！ 東邦銀行 檜葉支店
みらいスタッフが紹介！イマドキ“ならは事情”
- P.5 ディープなひと。を紹介♪：町の新たなお菓子屋さん
新企画第3弾！「私たちが今、思うこと」
- P.6 表紙記事をふかぼりっ！ 等

一般社団法人ならはみらい

平成26年6月末にまちづくり会社として設立。
「きずな・安心・活力」この3つの基本理念のもと、町内外から応援をいただきながら町民自身が主体的に関わりを持ち、住みよい暮らしとなるよう様々な事業に取り組んでいます。



代表理事
渡邊 清

● これまでの10年。これからの10年。

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行し、経済はもちろん人々の“生きがい”や“やりがい”など様々なものが奪われることとなり、耐え忍ぶ1年となりました。

震災から10年。“ならはみらい”は設立から今年で7年となり、まちづくり団体として、基盤を作り上げる創業期から成長期に入りました。これからの10年がさらなる“未来”につながる大事な時期です。新たなコミュニティの形成・サポートの継続はもちろん、新たに移住促進の事業もスタートし、さらなる町の成長に寄与して参ります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



いつも当法人の事業及び取り組みにご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響により例年通りの活動ができず、もどかしい年となりました。少しずつですがイベントも開催できるようになり、今後も状況に応じた“まちづくり”“地域づくり”に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします！

ならはみらい職員一同

笑ふるタウン情報

ならSUNフェス2020が開催されました！



11/7(土) 今回もコロナ禍でのイベントということで、出店者・スタッフそして来場者の皆様全員にご協力いただき万全な対策の中で開催することができました。ありがとうございます。当日は天候にも恵まれ、会場では毎年恒例の農産物品評会はもちろん、町民の皆さん

を中心に勇壮な太鼓、華麗に舞うよさこい、合気道、太極拳、合唱などが披露されステージを盛り上げていただきました！



2021年

お正月イベント3週連続開催っ！

第1弾

1月9日(土)

新春大抽選会

お買物をしてチャレンジ!



新春餅つき大会

みんなで餅つき!特製紅白饅頭ゲット!



第2弾

1月16日(土)

新春福袋・野菜マルシェ

婦人服福袋&出張写真館もオープン



第3弾

1月23日(土)

第3回笑ふるカップ

ゲーム大会優勝は誰の手に…!



※各企画の詳細については、ならはみらいまでお問い合わせください。



町外からのチカラで町を元気に!!

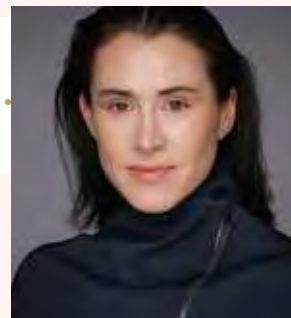
ならは応援団 活動報告♪

ならは応援団員の皆さんによる、今年度の活動をPickupしてご紹介します♪

今回はNPO法人「PLACE TO GROW(プレイス・トゥ・グロウ/以下PTG)」さんの活動を紹介しましょう! PTGは、子どもや若者に文化交流の機会を与えることで、地域リーダーの育成や持続可能なコミュニティの発展を目指しているボランティアグループです。主に外国人や国際的なルーツのある日本人で構成されています。軸となっているのは2011年から南三陸を中心にスタートした“サンタ・ソウル・トレイン”という活動。

NPO法人 PLACE TO GROW 代表理事
アンジェラ・オルティスさん

青森育ち
アディダスのCSRシニアマネージャー



東北の学校や東京のインターナショナルスクールに通う子どもたちが書いたメッセージカードに、プレゼントを付けてサンタさんが届けるプロジェクトです。福島県内では、過去にいわき市、郡山市、広野町でも開催。10回目となる今回の活動では、檜葉町も仲間に入り、各地の子どもたちと手作りのカードを交換しました。「海外にはまだまだ福島へのマイナスの印象を持つ人が多い。そんな人たちにも、活動を通じて今の浜通りの現状を見てもらいたい。」と話すアンジェラさん。今年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響でサンタさんによるプレゼントの手渡しができませでしたが、今後の活動の発展に注目です!



檜葉町に想いを持って下さる
“ひと”のつながりを大切に。



応援団員数

(令和2年12月13日時点)

団体登録

20 団体

個人登録

263 名



Pick up

ふたばエイトwebでシンポジウム!

初開催

東京で開催予定だったふたばエイトのシンポジウムでしたが、昨年の9月末にオンラインでの開催が実現! 新たなイベントの形ということで初の試みでしたが、ネットを通して全国各地の参加者の皆さんに双葉郡の“今”を発信しました。交流館ではネット会議等での利用も可能です! 皆さんも交流館で活用してみてはいかがでしょうか?



クリスマスナイトガーデン開催

点灯中

12/12(土)ここなら笑店街にて今回3年目となるイルミネーションの点灯が始まりました! 当日は点灯式が行われ笑店街のお店の方による特別メニューの販売や南相馬のジュニアコーラスによるクリスマスライブで会場を盛り上げました。少し早めのサンタさんも登場し、子供たちも大喜び! イルミネーションは1月17日(日)まで点灯しますので是非お立ち寄りください♪



NARAH

震災と復興の歩み、そして今を伝える
ならはふるさと案内人

ソーシャルディスタンスを保った中での開催

11月に今年度初となる語り部を行いました。参加したのは、ならは応援団として、イベントのお手伝い等で頻繁にお越しく下さる方とそのご友人達。語り部の前にアクリル板を設置するなど、感染症対策をしっかりと講じながらの実施となりました。震災当日から今に至るまでの約1時間のお話を、真剣なまなざしで聴いてくださりました。



檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会

取組 町内での充実した生活環境を整えるべく、下記の4つの柱を軸に地元企業・進出企業・町民有識者で会議を重ねています。

①新コミュニティ形成への深化

②地域(住民)が企業を知る

③企業が地域(住民)を知る

④お互いの共通グランドを作る

【業務内容】 銀行業として預金の出し入れや、事業資金・個人ローン、資産運用などについて幅広くご相談に応じています。



行員 中野日賢一さん

【地域との関わり】 「すべてを地域のために」のスローガンのもと、日頃の営業を通して地域経済の活性化に貢献しております。また、町内で行われる様々なイベントや各種活動への参加によって、皆さまとの関わりを深めております。

【PR】 東邦銀行では、長寿化に備える資産運用やセカンドライフの変化に伴うマネープランの見直し、相続・遺言など、お客さま一人ひとりに合った最適なコンサルティングサービスを提供しています。ぜひ、ご相談ください！

◀木戸川の鮭漁体験会に参加した行員の中野目さん。
町内イベントに積極的に参加している。

企業を知ろう！

まずはお互いを知るところから始めよう！
「②地域(住民)が企業を知る」にスポットをあて、町内団体を紹介します。

No.4

東邦銀行 檜葉支店

(檜葉町大字大谷字鐘突堂9-14)



これが イマドキ！

“ならは事情”

・ならはみらいスタッフが紹介！

ママ・赤ちゃんに藍の“愛”をお届け



町民活動サポート事業、ならは藍染め会担当の木村です。藍染め会では、出産したお母さんへ差し上げる記念品として藍染めストールを制作しています。3年目となる今回は新作のストールを2種類染め上げました！会の皆さんが！つつ丁寧に仕上げた愛情たっぷりのストール。このストールが赤ちゃんとお母さんの手に届き、さらに笑顔が生まれることを願っています！



藍の種まき、草引き、刈り取り、染色、包装、全て会員さんの手作業です！

檜葉の伝統 サケ漁体験会



檜葉町活性化協議会&懇話会担当の森です。檜葉町内の団体から成る檜葉町活性化協議会と檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会の協働で、サケ漁の伝統継承を目的に漁体験会を行いました！漁協の方から説明を受けながら、築場での漁体験や投網・採卵見学などを実施。活きのいいサケの様子に参加者一同大興奮でした！



冷たい水の中で働く漁協の方がまぶしく見えました。

つながりの深い“ひと”をご紹介します! ディープなひと。

2019年にUターンし現在はオーダーケーキをメインとしたお菓子屋さんを開業。檜葉の方はもちろん、多くの方からご予約をいただき毎日楽しく作業しています。学生の頃にパティシエを目指し、専門学校へ進学。一度神奈川で就職後、さらに技術を磨くため留学を考えていた頃に震災が起きました。元々地元へ戻ることを考えていなかった私ですが震災をきっかけに意識するようになり、翌年に留学、そして結婚、出産…。これから



ワークショップを楽しむ子ども

家族と暮らす場所を考えた結果、生まれ育った檜葉町を選びました。帰町の判断材料として大きかったのは地元



パティシエ(檜葉町出身)
おかしなお菓子やさんLiebe

よこすか なお
代表 横須賀 直生さん



の友人が先に帰町していたこと、そして檜葉に移住し活動する同世代の存在ですね。心強かったです。お店を開業するまでの間は、ならはみらいの臨時職員として働かせてもらいました。そこで町民の方とも交流を持つことができ、12月に2度目のワークショップを交流館で開催し多くの方に参加していただきました。今後はお店の法人化や起業に悩んでいる女性の支援など様々なことを考えています。その動きが子供たちに「檜葉町って面白い!」「檜葉町で働きたい」と思ってもらえたら嬉しいです。



新規事業紹介

“次世代型移住促進事業”



コロナ禍の社会において、再び地方移住のニーズが高まっています。「自然の中で、のびのび生活したい」「自分の能力を地域活性化のために活かしたい」「災害の少ない地方で暮らしたい」などなど、多様なライフスタイルを実現できる環境こそが、地方の強みです。ならはみらいでは本年度から、次世代型移住促進事業をスタート。移住における「居(コミュニティ)・職(仕事)・住(住まい)」の促進につなげる取り組みを行います。

● 檜葉町が抱える課題って? ●

居では?

- ・余暇を楽しめるコミュニティがない
- ・家族、子供に向けたプラスアルファの魅力がない

職では?

- ・魅力的な仕事が少ない
- ・慢性的な人手不足に
- ・従業員の町民割合の低さが深刻

住では?

- ・檜葉町に住みたいけど、家賃が首都圏並みに高い!
- ・北と南の空き地の価格に格差が

目指す将来像に向かって、各種施策に取り組みます

多様な人が働きたくなる場づくり

- ・町にある仕事の見える化
- ・スモールビジネスの誘致
- ・コワーキングスペースの開設
- ・副業できる仕事の洗い出し など

多様な人が住みたくなるライフスタイルを目指す

- ・趣味的コンテンツの強化(賃貸家庭菜園など)
- ・海や川の観光地化
- ・空き家空き地バンクの機能強化
- ・個別メンター型公設塾の設置 など

地方移住の先進地
徳島県美波町と神山町を
視察してきました

神山町のサテライトオフィス「えんがわオフィス」。
築90年の母屋と蔵を改修、現在は東京の映像関連
会社が入居しています。



👤 Fukabori! 書初めにご協力いただいた皆さんをご紹介します!

①氏名、②年齢、③所属団体、④現在取り組んでいること

いかり ひでお
①猪狩 秀男さん
②76歳
③もろもろ塾
④そば教室、門松作り

ふるや
①古谷 かおりさん
②36歳
③株式会社結のはじまり
④お母さんたちに漬物づくりを教わっています!

わたなべ
①渡辺 みどりさん
②68歳
③なにかし隊/絵手紙教室
④絵手紙、粘土工芸、アレンジメント



もり えいじ
①森 栄二さん
②69歳
③うしお会、合気道
④和太鼓、水墨画、登山

もうえ ひな
①馬上 日菜さん
②14歳
③檜葉中学校Nalys社長
④志望校合格に向けて受験勉強中!

たかはら けいすけ
①高原 啓介さん
②39歳
③葦ILLUSTRATION BASE
④イラスト作品などの創作活動

📢 News

お知らせ “3.11”イベント計画中!!

震災から10年。この節目の年に町民のみなさんや檜葉町を応援してくださるみなさんの“何かを伝えたい”“話したい”“集いたい”という想いを集め形したイベントを企画中です!みなさんの“これまで”と、そして“これから”を何らかの形で「みんなの交流館ならはCANvas」に彩ってみませんか。「この作品を展示したい!」「練習の成果を披露したい!」など、ご意見は随時受け付けております。お気軽にならはみらいまでお問合せください!

募集 檜葉町の写真を募集します! 震災の記録を未来へつなぐプロジェクト

町の風景や暮らし、想いの変化していく中で“これからを生きる誰か”のために、この町の記録を遺しておきたい。そんな想いからこの取り組みを始めることにしました。



▲写真例: 冬の旧竜田駅舎

写真の内容

檜葉町で撮影された写真、檜葉町の方が映っている写真(震災前、震災後問わず)
詳細はならはみらいまでお問合せください。

🕒 MIRAI Now ならはみらいの動き

10月 13日 ● 企業セミナー
18日 ● 交流館花植え
20日 ● 檜葉町新たなコミュニティづくり懇話会 会議

11月 7日 ● ならSUNフェスin2020
11日 ● 活性化協議会・懇話会/木戸川鮭漁体験
17日 ● 消防訓練
24日 ● ならはみらい理事会
28日 ● 藍染め:乾燥葉染め体験会

12月 12日 ● ここなら笑店街イルミネーション点灯式
15日 ● ふたばエイト会議
20日 ● ならコレ(かかし・藍染め参加)
※年末年始お休み: 12/29(月)~1/3(日)

毎月実施

檜葉町活性化協議会会議(第1水曜日)
ここなら笑店街テナント会(第1木曜日)

公式ホームページはこちら!



一般社団法人
ならはみらい



みんなの交流館
ならはCANvas



ここなら笑店街

その他、Facebook・Instagramもcheck!

発行者・問い合わせ先



一般社団法人ならはみらい

住所: 〒979-0604 福島県双葉郡檜葉町大字北田字中満260番地 みんなの交流館ならはCANvas内
電話: 0240-23-6771 FAX: 0240-23-6772
Mail: info@narahamirai.com Web: https://narahamirai.com